

症例報告のススメ

はじめに

- 「症例報告のススメ」は、若手の理学療法士が大阪府理学療法学会で症例（事例）報告をする支援を目的として作成しました。
- 学会で自身の経験を共有することで、①エビデンス構築に貢献できる、②直接その分野の専門家からアドバイスをもらえる、③共に研鑽する仲間ができるというメリットがあります。
- これを参考にして若手理学療法士が大阪府理学療法学会に積極的に演題エントリーしていただけることを希望しています。



症例報告とは

【シングルケースレポートsingle case report】

- 患者の特徴・診断・問題点・治療・反応などを詳細に記述したもの

【シングルケーススタディsingle case study】

- シングルケースレポートの内容に考察文献を加え、他のケーススタディと比較をしたり、様々な考察を加えて情報を統合したもの

【症例集積研究：case-series study】

- 複数の症例をまとめ、評価する研究

大阪学会の症例報告は
この2つです！



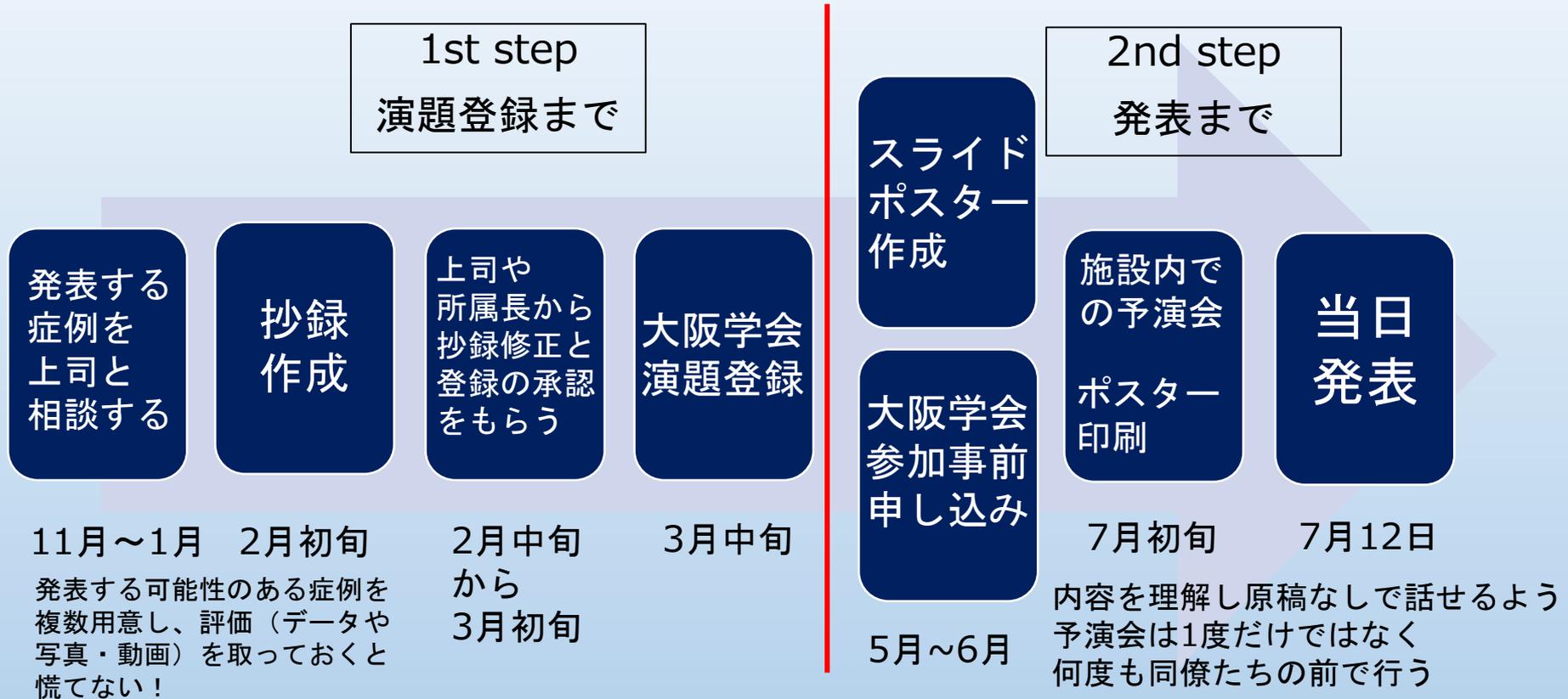
症例発表では実験的研究と異なり、経過中の自然回復や成長による変化なども介入以外の要因となるため、関連性や因果関係を示すということは困難です。自分のやっていることの正当性を示すのではなく、自分が取り組んだことを示し、他者の意見をもらうことで考えをアップデートするという意識を大事にしてください。

症例報告の注意点

- 一症例のみの結果であるため、一般化するためにはさらなる研究が必要になる
- 比較対照を行わないため、因果関係を確立することは難しい
- 因果関係が不明瞭なことなどから、自身の考えなどのバイアスが強く入り込みやすく、過剰解釈や誤解をしてしまう可能性がある
- 希少性や新規性を重視しすぎて、一般的な内容で重要な事柄などを無視しやすくなる
- 守秘義務やインフォームドコンセント、倫理的配慮に十分な注意が必要
- 後ろ向きに解釈することが中心になることから、記憶やカルテ内容の選択に偏り（リコールバイアス）が入りやすく、都合の良い解釈につながりやすくなる

症例発表までのスケジュール

【押さえるべき予定】第32回大阪府理学療法学会 Ver.



ポイント

- ・ 当日までの予定を逆算する
- ・ 上司は忙しいことが多いため、事前に予定を確認し、アポをとる
- ・ 抄録やスライド修正は1度でOKがもらえることはないので、何度も上司とやり取りする時間と手間が必要だと理解しておく

必ず必要なもの

- 学会発表は、患者や利用者の個人情報公開することになるので、対象者に学会発表の趣旨の説明をし、同意を得る（可能な限り書面で）必要があります。
- 人を対象とする医学研究に関する倫理指針およびヘルシンキ宣言をしっかりと確認し、倫理的配慮を十分に行ってください。
- また、対象者のプライバシーが保護されるように十分に注意をしてください。

同意書の例

同 意 書

〇〇病院 〇〇殿

私は『〇〇〇における一症例』について △△ より説明を受け、大阪府理学療法学会大会および論文での発表について十分納得・理解しましたので、私の自由な意志によって、同意します。

説明を受けた項目

- 学会および論文発表の目的
- あなたを対象とする理由
- 同意の撤回
- プライバシーの保護

平成 年 月 日

同意者（本人）：

同意者（代諾者）：

（本人との関係： ）

住所

電話

*同意していただける場合は署名もしくは記名押印をお願いします。

症例発表用のフォーマット

第32回大阪府理学療法学会 症例報告 フォーマット

【演題名】

最大40字

【症例紹介】

【評価とリーズニング】

【介入と結果】

【結論】

【倫理的配慮、説明と同意】

最大1200字

※各学会・雑誌によって投稿・発表規定がありますので、それらに乗っ取って作成しましょう。

抄録を書く時のポイント

【演題名】

- ・ 発表の内容がわかる用語を使って簡潔にまとめる。
（「ケース」や「一症例」なども記載）

【症例紹介】

- ・ どのような症例か（基本情報、医学的情報、社会的情報など）をわかりやすく記載する

【評価とリーズニング】

- ・ 評価内容をできる限り客観的に（写真やデータも用いて）示し、問題点や介入方法を検討するためのリーズニング内容を記載する

【介入と結果】

- ・ 介入から結果までの内容を時系列に沿って書く

【結論】

- ・ 評価から結果までの内容の根拠や自身の考えを先行研究等も踏まえてまとめる

共同演者について

- 協力してくれた方や共同研究者は適切に記載する必要があります。
- 逆に関係のない上司や同僚を記載する必要はありません（ギフトオーサーシップ）。
- 筆頭演者、共同演者、研究責任者には許可を得て、載せるようにしましょう。

学会発表や論文投稿は
一人の力で成しえるものではありません！

最終チェックリスト

- 対象者の同意を得られているか
- 自分が言いたいことが明確か
- タイトル、キーワードと結論が一致しているか
- 論理的に破綻している部分はないか
- 大阪学会指定のフォーマットに沿っているか
- 誤字、脱字がないか
- 文字数の超過はないか
- 共同演者の同意を得て、記載されているか
- 所属長の承認を得られているか
- 同僚や部下に読んでもらい違和感がないか確かめたか

中川法一大会長からの激励メッセージ

- 対象者に最適な理学療法を提供することは私たちの使命であり、対象者の反応（回復）が報酬であります。適切な報酬を受け取るために私たちはプロとして自己研鑽をするのです。
- 研究活動は自己研鑽の大きな柱になります。症例報告が研究の第一歩です。先ずは始めてください。症例報告の準備過程で必ず科学的視点が涵養されます。
- EBM（EBPT）が求められる現代において、科学的視点や根拠は不可欠ですが、それはテキストで学ぶものではなく、対象者と真摯に向き合うことから始まります。その原点が症例報告なのです。
- 対象者へ真摯に向き合った結果を、2020年7月12日に大阪国際会議場で胸を張ってご報告をください。

準備委員一同、心からお待ちしています

参考文献

- Richard A Rison : A guide to writing case reports for the Journal of Medical Case Reports and BioMed Central Research Notes, Journal of Medical Case Reports 2013, 7
- Trygve Nissen : The clinical case report: a review of its merits and limitations, BMC Research Notes 2014, 7
- 望月 久 : 理学療法領域における研究倫理, 理学療法学 2017, 44(5)
- Jane Frawley : Writing for publication: case studies, Australian Journal of Herbal Medicine 2013, 25(3)
- L. OZCAKAR : Writing a case report for the American Journal of Physical Medicine and Rehabilitation and the European Journal of Physical and Rehabilitation Medicine, EUR J PHYS REHABIL MED 2013, 49
- Michael J. Fillyaw : Case report writing in a Doctor of Physical Therapy Education program: A case study, *Journal of the Scholarship of Teaching and Learning* 2011, 11(1)
- Joel J Gagnier et al : The CARE guidelines: consensus-based clinical case reporting guideline development, Journal of Medical Case Reports 2013, 7
- 谷 晋三 : 症例研究の必須事項, 行動療法研究 2015, 41(1)
- 長澤 弘 : 症例発表に向けて, 理学療法学 2011, 38(4)
- 河島 則天 : 医学・リハビリテーション領域における単一症例研究の意義と位置づけ, バイオメカニズム学会誌 2018, 42(1)
- 對東 俊介 : 若手理学療法士のための症例報告と原著の書き方, 理学療法の臨床と研究 2016, 25
- 昆 恵介 : 研究・発表における倫理, 日本義肢装具学会誌 2017, 33(2)
- Fitzgerald GK: Focus and value added: The new case report. PhysTher 2007, 87